


| | | |
|-------------------|--|--|
| 建物名称 | 大阪ガス実験集合住宅NEXT21 305住戸「余白に棲む家」 |  |
| 所在地 | 大阪市天王寺区 | |
| 施工年 | 2013年 | |
| 構造・構法・規模 | 1～2階：鉄骨鉄筋コンクリート造 3～6階：プレキャストコンクリート+鉄筋コンクリート複合構法 地上6階・地下1階の3階住戸：87.26㎡ | |
| 事業者名 | 大阪ガス株式会社 | |
| 設計者・施工者 (改修業者) | インフィル設計：竹原義二/無有建築工房 住棟設計：集工舎建築都市デザイン研究所 施工：大林組 | |
| 増改築・リフォームの種別 | 大規模な模様替え | |
| 増改築・リフォームのテーマ・特徴 | スケルトン・インフィル方式を活かし、壁面・内装を改修し新しい住戸を建設。コンセプトとしては、自宅で放課後クラブに類する活動をする妻と夫・子供が暮らす家を想定し、自宅の中にありながら、外部空間と親和性のある空間（中間領域）を設定し、子供たちが集まり、居場所を見つける等、様々なアクティビティを受け入れる余白を持った住まいになっている。 | |

NEXT21 外観（スケルトン・インフィル方式の採用）

| | | |
|---------------|--------------------------|--|
| 採用された環境共生要素技術 | 省エネ | 高効率給湯機器（エコジョーズ）の採用 熱損失の低減（次世代省エネ基準） |
| | 省資源 | 変化対応型工構法（スケルトン・インフィル方式）の採用 生ごみのバイオガス利用、生活排水の中水利用（植栽の灌水） |
| | 親和性 | 豊かな内外の中間領域の創出（外部空間の緑と室内の緑をつなぐ） |
| | 健康快適 | 通風や換気性能を確保（気候の良い時期は風を通し、快適に過ごす） |
| 先導事業・認定等の取得 | 平成24年度「住宅・建築物省CO2先導事業」採択 | |



豊かな緑地のある外部空間と住戸内を緩やかにつなぐ緑

(左下) 外部空間とつながり、光・風・緑を取り込む外土間
(右下) 高効率給湯機器（エコジョーズ）を設置



増改築・リフォームによる効果

省エネ設備（エコジョーズ）導入による給湯・冬期暖房費の削減。積極的な通風による快適性の向上に加え、外部緑地との連続性により自然の恩恵を享受。外土間は中間領域として、学習塾の子供たちが訪れ、遊ぶ場となり、人とのつながりを創出。気候の良い時は扉を開放する等、省エネにも寄与。